

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成20年12月
福岡県北九州市（小倉地区）

I. ポイント

○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9ヶ月)

(1)概況

本年の7月に計画の認定を受け、小倉地区中心市街地活性化協議会を中心に、基本計画の実行段階としての取組みがスタートしたところである。

協議会においては、セミナーや講演会の開催や、事例調査、情報交換、新たな取組みの検討を行うなど、多様な関係主体を巻き込んだ活動を行っているほか、計画されているハード事業とソフト事業との連携を高めるとともに、エリア別の魅力を高め、エリア相互の回遊性を向上させ、一体感のあるまちづくりを今後行うため、エリアマネジメント専門部会を立ち上げ、「小倉都心エリアマネジメント計画」の策定を行っているところである。

基本計画掲載事業の主な動きとしては、公共事業においては、以前から実施している事業を今後も着実に実施していくとともに、民間事業においては、小倉駅北口地区の新たな拠点となる「小倉記念病院新築移転事業」が本年10月着工し、平成22年度の開院に向けて工事を進めているところである。

また、商店街の魅力アップに期待される「魚町銀天街ショッピングモール化事業」は平成21年度の工事着工、年度内竣工に向けた具体的な検討が活発に行われている。

その他、ソフト事業では、地元の若手メンバーらによって企画された「ナイトツアー」が開催され、好評を博したことによって、まちづくり活動の機運が高まりを見せており、今後の活発な活動が期待されるところである。

(2)目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H24fy)	最新値 (H20fy)	見通し
広域商業拠点の賑わいの向上	商店街エリアを中心とした歩行者通行量	146,958人/日 (H19年)	177,000人/日	141,315人/日	
	既存の主要大型商業施設の年間来店者数	48,695,683人/年 (H18年度)	52,000,000人/年	平成21年度 フォローアップ予定	
文化的で非日常的な都心の魅力向上	主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	約165万人/年 (H18年度)	197万人/年	平成21年度 フォローアップ予定	
昼間人口の拡大による活力向上	事業所従業者数(民間)	64,612人 (H18年)	69,000人	62,125人 (推計値)	

- 注) : 事業等の進捗状況が極めて順調であり、相当程度の余裕をもって目標達成可能であると見込まれる。
: 事業等の進捗状況が概ね予定通りであり、目標達成可能と見込まれる。
: 事業等の進捗状況が予定通りではないものの、依然として、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
: 事業等の進捗に相当程度の支障が生じており、目標達成が困難と見込まれ、今後対策を講じる必要がある。
: 事業等が実施されていないため、今回は評価対象外。

<達成状況の評価及び見通しの理由>

基本計画掲載事業は、概ね予定どおりに進捗が図られているが、事業の実施効果が目標数値に表れる段階ではないため、各指標共に、今回は評価対象外。

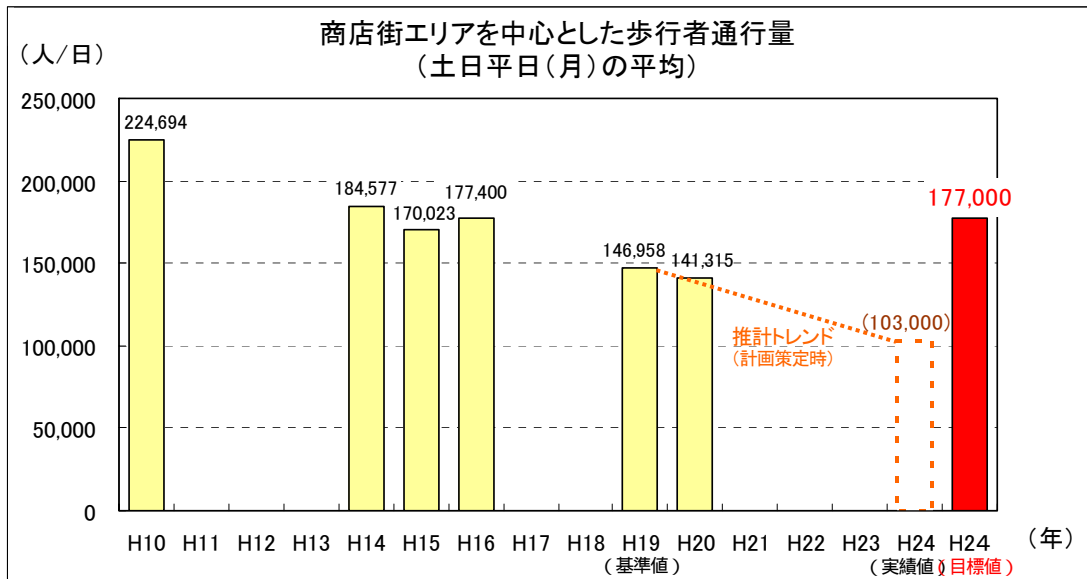
(3) 今後の対応

中心市街地活性化協議会（幹事会、専門部会を含む）を中心として、多様な関係主体との連携のもとに創意工夫しながら、目標達成に向けた取組みを着実に進めていく。

II. 目標「広域商業拠点の賑わいの向上」

II-1. 数値目標の達成状況

(「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」→目標設定の考え方基本計画 P70～P71 参照)



年 (調査月)	H10	H14	H15	H16	H19 (基準値)	H20 (H20.8)	H21	H22	H23	H24 (実績 数値)	H24 (目標 数値)
歩行者通行量 (人/日)	224,694	184,577	170,023	177,400	146,958	141,315					177,000

資料：北九州市調査

II-2. 主要事業の進捗状況

- ・小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ)跡再生事業 平成20年度着手予定 平成21年度完成予定
- ・小倉記念病院新築移転事業 平成20年度着手 平成22年度完成予定
- ・チャチャタウン小倉2期開発事業 平成20年度着手予定 平成22年度完成予定
- ・(仮称)北九州市漫画ミュージアム開設準備事業 平成20年度着手 平成22年度完成予定
- ・旦過第一地区市街地再開発事業 平成21年度着手予定 平成24年度完成予定

II-3. 数値目標達成の見通し

事業の実施効果が目標数値に表れる段階ではないため、今回は評価対象外。

今後も基本計画掲載事業等の着実な進捗を図ることにより、目標達成可能と見込まれる。

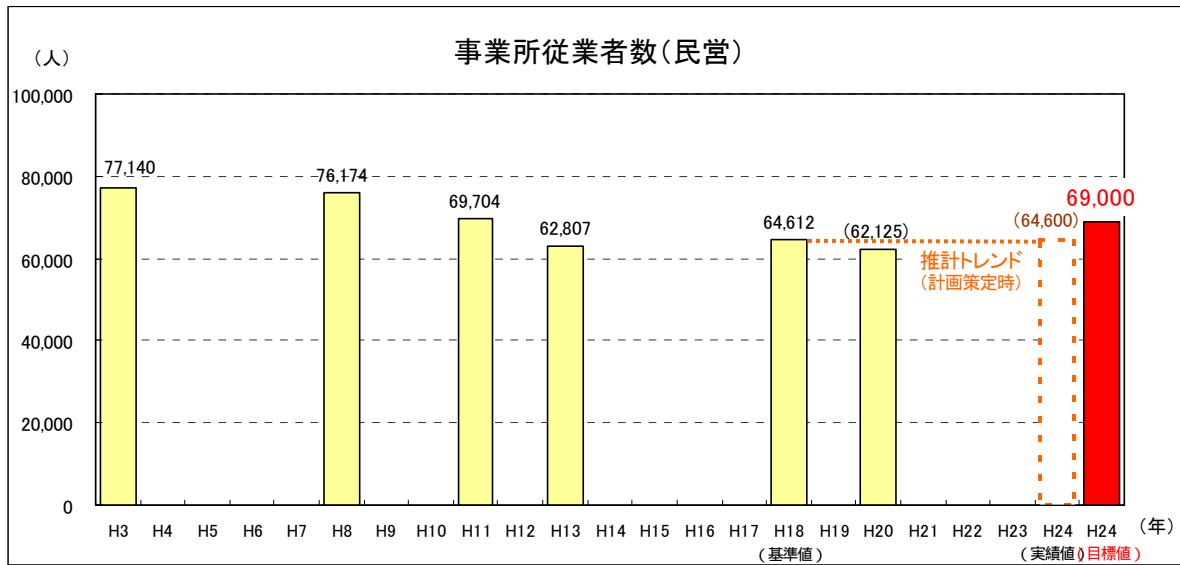
II-4. 今後の対応について

基本計画掲載事業を着実に進めていくとともに、事業の実施方法の工夫や新規事業の掘り起こし等によって、目標達成に向けた取組みを着実に進めていく。

Ⅲ. 目標「昼間人口の拡大による活力向上」

Ⅲ-1. 数値目標の達成状況

(「事業所従業者数(民営)」→目標設定の考え方基本計画 P70、P93 参照)



年	H3	H8	H11	H13	H16	H18 (基準値)	H19
事業所従業者数(民営) (人)	77,140	76,174	69,704	62,807	69,160	64,612	—
年	H20	H21	H22	H23	H24 (実績数値)	H24 (目標数値)	
事業所従業者数(民営) (人)	62,125 (推計値)					69,000	

資料：事業所・企業統計調査および北九州市調査

Ⅲ-2. 主要事業の進捗状況

- ・小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ跡)再生事業 平成 20 年度着手予定 平成 21 年度完成予定
- ・小倉記念病院新築移転事業 平成 20 年度着手 平成 22 年度完成予定
- ・チャチャタウン小倉 2 期開発事業 平成 20 年度着手予定 平成 22 年度完成予定
- ・旦過第一地区市街地再開発事業 平成 21 年度着手予定 平成 24 年度完成予定
- ・小倉駅南口東地区市街地再開発事業 平成 19 年度着手 平成 23 年度完成予定
- ・北九州市立思永中学校 PFI 事業 平成 16 年度着手 平成 21 年度供用開始
(西日本工業大学大学院・地域連携センターの整備)

Ⅲ-3. 数値目標達成の見通し

事業の実施効果が目標数値に表れる段階ではないため、今回は評価対象外。

今後も基本計画掲載事業等の着実な進捗を図ることにより、目標達成可能と見込まれる。

Ⅲ-4. 今後の対応について

基本計画掲載事業を着実に進めていくとともに、事業の実施方法の工夫や新規事業の掘り起こし等によって、目標達成に向けた取組みを着実に進めていく。

IV. その他

「基本計画の重要事項に関する変更等」

・新しい北九州市基本構想・基本計画の策定（平成20年12月）

平成19年度に新・北九州市基本構想の策定に着手。平成20年10月に審議会からの答申を受け、平成20年12月、基本構想および基本計画（部門別計画）を策定した。

基本構想・基本計画では、従来どおり小倉都心・黒崎副都心を位置付け、都市機能を高め、にぎわいづくりを進めていくことや、環境負荷の低減や便利で快適に暮らせるまちづくりなどの観点から、本市の特色を活かしたコンパクトシティ（集約型都市）の形成を目指すことを盛り込んでいる。

今後も引き続き、基本構想などの上位計画との整合性を図りながら、中心市街地活性化に向けた取組みを進めていく。